

平成30年度劇場・音楽堂等機能強化推進事業  
(地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業)

成果報告書

団 体 名	公益財団法人静岡市文化振興財団	
施 設 名	静岡音楽館A01	
助成対象活動名	公演事業・人材養成事業・普及啓発事業	
内 定 額 ( 総 額 )	21,854	(千円)
	公 演 事 業	16,408 (千円)
	人 材 養 成 事 業	2,567 (千円)
	普 及 啓 発 事 業	2,879 (千円)

## (2) 平成30年度実施事業一覧

【公演事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	ヴァイオリンの潮流Ⅲ アルペナ・ダナイローヴァ ヴァイオリン・リサイタル	平成30年5月18日	出演 アルペナ・ダナイローヴァ 他	目標値	480
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	402
2	ランチタイム・コンサート 和谷泰扶 ハーモニカの世界	平成30年5月23日	出演 和谷泰扶 他	目標値	360
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	274
3	子どものためのコンサート 小川典子 ピアノ・リサイタル	平成30年6月16日	出演 小川典子	目標値	420
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	555
4	モイツァ・エルトマン ソプラノ・リサイタル	平成30年6月29日	出演 モイツァ・エルトマン	目標値	420
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	384
5	ブラームス：交響曲全集Ⅳ	平成30年7月29日	出演 沼尻竜典、マルクス・パヴリック ほか	目標値	540
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	582
6	第23回「静岡の名手たち」オーディション合格者によるコンサート	平成30年9月15日	出演 第23回「静岡の名手たち」オーディション合格者8組	目標値	330
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	337
7	カニサレス・フラメンコ・クインテット×福田進一 ～スペイン・フラメンコの世界～	平成30年9月22日	出演 カニサレス・フラメンコ・クインテット、福田進一	目標値	480
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	574
8	ジャン＝ギアン・ケラス（チェロ）&フレンズ トラキア・プロジェクト	平成30年9月28日	出演 ジャン＝ギアン・ケラス 他	目標値	420
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	266
9	J.S. バッハの世界 ～《音楽の捧げもの》とカンタータ～	平成30年10月6日	出演 森麻季、寺谷千枝子 他	目標値	540
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	463
10	ポール・メイエ クラリネット・リサイタル	平成30年10月26日	出演 ポール・メイエ、山田武彦	目標値	420
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	415
11	A01・レジデンス・クワルテット	平成30年11月10日	出演 A01・レジデンス・クワルテット	目標値	300
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	267
12	第8回アマチュアアンサンブルの日♪	平成30年11月23日	出演 公募による24組	目標値	700
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	618
13	琉球弧の島唄 ～奄美、沖縄、宮古、八重山の民謡～	平成30年12月1日	出演者 知名定男、大城美佐子 他	目標値	420
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	561
14	今井信子（ヴィオラ）&伊藤恵（ピアノ）デュオ・リサイタル	平成31年1月25日	出演 今井信子、伊藤恵	目標値	420
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	385
15	子どものためのコンサート 東混ゾリステン 声楽八重唱	平成31年2月2日	出演 東混ゾリステン、矢崎貴子	目標値	420
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	259
16	子どものためのコンサート 0歳児からのファミリー・コンサート Vol.3	平成30年10月13日	出演：東海大学付属静岡翔洋高等学校・中等部吹奏楽部のメンバー	目標値	240
		静岡音楽館A01 講堂		実績値	258
17	オーケストラで綴る フィギュアスケート名曲コンサート	平成30年11月16日	出演：垣内悠希、菊池洋子、静岡交響楽団	目標値	540
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	433
18	オルガン¥500コンサート 萩野由美子	平成30年8月22日	出演 萩野由美子	目標値	480
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	546
19	オルガン¥500コンサート 石丸由佳	平成30年12月15日	出演 石丸由佳	目標値	480
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	528
平成30年度の目標値、実績値				目標値	8,410
				実績値	8,107

(2) 平成30年度実施事業一覧

【人材養成事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	第23回「静岡の名人たち」オーディション	平成30年5月12日～13日	審査員 野平一郎、福田進一、田村博巳 ほか	目標値	65
		静岡音楽館A01 ホール		実績値	59
2	第13期ピアニストのためのアンサンブル講座	平成30年7月18日より全10回	講師 野平一郎、漆原啓子、向山佳絵子 ほか	目標値	70
		静岡音楽館A01 ホール、講堂		実績値	411
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	135
				実績値	470

(2) 平成30年度実施事業一覧

【普及啓発事業】					
番号	事業名	主な実施日程	概要 (演目、主な出演者、スタッフ等)	入場者・参加者数	
		主な実施会場		目標値	実績値
1	第20期「子どものための音楽ひろば」	平成30年4月21日より全24回	講師 志村泉、松倉利之、原田敬子 ほか	目標値	50
		静岡音楽館A0I 講堂		実績値	55
2	どこもでもA0I	平成30年11月19日、12月5日	出演 野平一郎	目標値	-
		清沢小学校、駒形小学校		実績値	251
3	A0Iのオープン・デイ2018	平成30年8月4日	出演 野平一郎、嶋田慶子 ほか	目標値	1,300
		静岡音楽館A0I ホール ほか		実績値	3,125
4	静岡音楽館A0I アウトリーチ事業 由比生涯学習交流館 訪問コンサート	平成30年7月7日	出演 遠藤紗千、今井俊輔 ほか	目標値	300
		静岡市由比生涯学習交流館 多目的ホール		実績値	239
5	静岡音楽館A0I アウトリーチ事業 静岡県立静岡北特別支援学校小学部 訪問コンサート	平成30年6月6日	出演 倉田優、箱崎由比、池田昭子 ほか	目標値	-
		静岡県静岡北特別支援学校 体育館		実績値	290
6	静岡音楽館A0I アウトリーチ事業 駿府学園 訪問コンサート	平成30年7月10日	出演 相澤政弘、篠崎隆、エマニュエル・ヌヴー	目標値	-
		駿府学園 園内		実績値	25
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
				目標値	
				実績値	
平成30年度の目標値、実績値				目標値	-
				実績値	3,985

## 【妥当性】

### 自己評価

社会的役割（ミッション）や地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられ、当初の予定通りに事業が進められていたか。

2018年度、当館で実施した事業はいずれも目標として掲げたミッションや地域の特性等に基づき、事業が適切に組み立てられたものとする。その中でも特筆される事業について以下に列記する。

#### 1. 「AOIのオープン・デイ」（普及啓発事業3）

当館の事業内容の紹介や存在を広く市民に周知するために実施。ミッションとして掲げている当館の特性を活かし、小編成のオーケストラでのモーツァルトプログラムや、オルガンコンサートを無料で開催した。オーケストラのメンバーは、これまでの「静岡の名手たち オーディション」（人材養成事業1）の合格者の中の器楽奏者を中心に編成し、広く市民に音楽に触れる機会を提供することができた。また、同日開催のロビーコンサートでは、地元常葉大学短期大学部の現役生に出演を依頼し、学校教育機関との連携を図ったとともに、楽器体験コーナーでは多くの子どもたちが楽しんで普段触れる機会のない楽器を体験した。結果目標としていた入場者数を大幅に超える3,000人強の来場者を得ることができ、まちの賑わいを創出する一助のなったと考える。

#### 2. 「オルガン¥500コンサート」（公演事業18、19）

音楽の裾野を拡大するため、誰もが気軽に音楽を鑑賞できる公演として、当館所有のパイプオルガンを活用し、市民にその魅力を紹介し親しんでもらうことを主眼とした事業。2公演ともにチケットは早々に完売し、多くの来場者を得ることができた。また、当財団が科学館も運営しているという強みを生かし、連携事業として科学的視点を取り入れた「オルガンのしくみ」についての講座を生涯学習センター4館で実施し、こちらも大変好評であった。

2019年度からは夏休み実施分については、3歳児から入場できることとし、プログラムや進行方法の工夫などより広い世代の来場者が芸術を享受できるよう工夫をこらしていく。

助成に値する文化的、社会的、経済的意義等が継続して認められるか。

乳幼児から小中学生、子育て世代の親、高齢者と、幅広い層を対象として事業を特色を打ち出しながら展開していくことで、地域文化の発展や情操教育、生涯学習に至るまで、静岡市における中核をなす文化施設としての位置づけを継続的に提供し続けていることは、大きな文化的、社会的な意義を有すると考える。

また、室内楽専用ホールとして国内外の一流アーティストから高い評価を受け、多くの再演を望まれていることは、地域の文化財として高い経済的な意義を有するとともに、地元の若い音楽家を演奏会に起用し続け、開館以来国内外の作曲家に新曲を委嘱し続けていることで、演奏家、作曲家の育成にも寄与している。

当館の職員においては、職員自身が講師となり無料で演奏会の周知に向けた講演会を開催し音楽に関する研究、教育普及に努めているほか、地域の高校とも連携し今年度から年間3回のキャリア教育講座を講師として携わり、音楽の普及に努めるほか、地域の音楽団体や老人学級での講演会を開催するなど、職員が業務の一環として講座を実施していることは、全国的にみても特筆に値するものとする。

## 【有効性】

### 自己評価

目標を達成したか。

#### 公演事業

①ホール内の音響特性を活かした質の高い魅力的な公演の実施

当館の室内楽専用ホールとしての音響特性を活かした小編成で且つ質の高い公演を実施し、聴衆から高い評価を得ることができた。各公演のほぼ100%に近い満足度がそれを裏付けている。

・ J. S. バッハの世界 満足度95.6%

・ ポール・メイエ クラリネット・リサイタル 満足度100%

・ 今井信子（ヴィオラ）&伊藤恵（ピアノ）デュオ・リサイタル 満足度98.5%

②ホールからの発信を意識した独創的な公演の実施

開館以来当館の専属弦楽四重奏団として設置されているA01・レジデンス・クワルテットを、当館からの発信を意識した特徴的な事業のひとつとして継続することができた。

③特定のジャンルにこだわらない多彩な公演の実施

本年はカニサレス・フラメンコ・クインテット×福田進一（スペイン・フラメンコ）、ジャン＝ギアン・ケラス（チェロ）&フレンズ（ギリシャ・ベルシャ伝統音楽）、琉球弧の島唄（琉球民謡）の3公演を実施。フラメンコと琉球民謡公演では、チケットが売切れ、当館の特色の一つとして市民に浸透してきている。

④音楽の裾野を拡大するため、誰もが気軽に音楽を鑑賞できる公演の実施

ランチタイム・コンサート 和谷泰扶 ハーモニカの世界公演は、夜間に足を運びにくい高齢者層に多く来場いただきたほか、0歳児からのファミリー・コンサートでは育児中の親子が演奏を楽しみ、多くの喜びの声をいただくことができた。

⑤パイプオルガン等当館所有の楽器を活用し、かつ市民に親しんでもらう公演の実施

オルガン¥500コンサート2公演を実施。年を重ねる毎に券売のスピードが速くなってきており、より多くの市民に当館のパイプオルガンの魅力が浸透してきていることを実感するとともに、このコンサートを切っ掛けに当館が実施する別のクラシックコンサートのチケットを購入される方が増えていることを、窓口での対面販売を通じて実感している。

#### 人材養成事業

①地元音楽家の人材育成を目的とした事業の実施

②地元音楽家の活動支援

開館以来毎年開催している「静岡の名手たち」オーディションにおいては、参加目標値（65組）にはわずかに達しなかったが（59組の参加）、8組の合格者を出し9月には合格者によるコンサートを実施した。また、公演事業で申請をしている「アウトリーチ・コンサート」や、助成事業には申請していないが当財団が運営する静岡市美術館との連携事業として開催した「ミュージアム・コンサート」においては、過去のオーディション合格者に出演を依頼するなど、継続的な支援に務めている。

#### 普及啓発事業

より多くの市民が、よりクラシック音楽への興味・関心を高められるよう、以下の3点を実施目標として掲げる。

①長期的視野に立った、次世代を担う子どもや青少年の育成に関する事業の実施（「子どものための音楽ひろば」「どこでもA01」）

「子どものための音楽ひろば」では年間を通じて「打楽器」や「音あそび（作曲）」「合唱」についてなど、音楽を子どもたちに楽しんでもらうための講座、見学会を実施し、修了会ではグループに分かれて自作曲の発表をし、大きな成果を上げることができた。「どこでもA01」や、「小学校高学年のためのオルガンコンサート」（助成対象外公演）など、青少年育成のための事業を実施した。

②市民が音楽を身近に体験・発表することができる機会の提供（「A01のオープン・デイ」「静岡音楽館A01アウトリーチ事業」）

「A01のオープン・デイ」では、当館について関心はあるがこれまで来館までに至らなかった多くの市民が参加した。オルガンミニコンサートに参加した方のアンケート結果から来館回数が初めてと2回目の方が全体の9割弱を占めていたことから、広く当館の存在をアピールできたものと考えられる。

## 【効率性】

### 自己評価

アウトプットに対して、事業期間が適切で、当初の計画通りに進んだか。  
アウトプットに対して、事業費が適切で、当初の計画通りに進んだか。

年間を通して様々な事業を実施したが、事業の周知期間（広報）、券売期間、事業の実施日と、全て計画通りに実施することができた。事業個々に成果の内容については差があるが、いずれの事業についても、指標としていた数値を概ね上回ることができたことは、実施された事業に対して事業期間が適切であったと考える。

事業の確定：2017年8月

広報の開始（年間パンフレット発行）：2017年12月

券売の開始（第1期及び年間リザーブ）：2018年2月

また、事業費については、公演事業と普及啓発事業で20%程度、人材養成事業で8%程度当初予算から削減することができた。収入については予算に対し若干の未達であるものの概ね予定通りの結果を得ることができたが、個々の事業の要素によってそれぞれ幅があるため、その要素ごとに細かく分析し、今後の一層の収入向上に努めたい。

・2018年度の事業費全体（広告費を除く）の収支予算は収入24,598,000円、支出は74,631,000円で収支比率は33.0%。収支決算は収入23,107,326円、支出は61,243,433円で収支比率は37.7%。公の施設の事業として地域文化の向上という観点から広く来場者を得る必要があり、そのため入場料を地域の値ごろ感にあったものに設定するため、収支のバランスはどうしても低くなるが、それでも30%を超えていることについては、妥当と考える。また、予算に対し決算の収支比率が4.7ポイント高く、支出を抑えるなどの努力を講じている。

## 【創造性】

### 自己評価

地域の文化拠点としての機能を最大限に発揮する優れた事業であった（と認められる）か。

・当館の設置者である静岡市の所管課と定期的にミーティング（モニタリング）を開催し、事業・施設管理の状況を報告するとともに、市からの要望を聞き、改善・新規実施の要素としている。2018年度は当館の事業に対しては、概ね高い評価を得ている。近年では当館に対し静岡市のクラシック音楽の拠点としてより裾野を拡げてほしいとの要望があり、「オルガン¥500コンサート」「アウトリーチ事業」「0歳児からのファミリーコンサート」を立て続けに立ち上げ高い評価をうけており、現在も継続して開催している。今後は、ワークショップの開催など、できる限り要望に応えていきたいと考えている。

・当館の事業の中核をなす「コンサート・シリーズ」のラインナップは、芸術監督が企画会議委員（3名）とともに自身の企画案を持ち寄り構築しており、その創造性、独自性を開館以来保っている。国内外の作曲家への作品の委嘱を毎年実施していることやオペラの初演、SPAC 静岡県舞台芸術センターとの共同制作公演など、地域文化の発信拠点としての機能を発揮しているものとする。現芸術監督の野平一郎氏は、ピアニスト及び作曲家としての功績のみならず、プロデューサーとしての実績も含め、平成30年度日本芸術院賞を受賞している。

・開館以来、事業制作担当の専門職3名を配し、その任にあたっている。コンサートシリーズの制作からその他事業の企画立案、制作を主な業務としているが、コンサートへの集客を図り理解を深めてもらうための講演会を講師として開催することや、生涯学習センター、高齢者学級、高等学校などへも講師として赴くなど地域の音楽振興の一助となっている。

・主催演奏会へ来場された方の満足度が100%に近い高い水準を維持しており、公演に対する高い評価を示している。

・音楽専門誌や静岡市広報誌を中心に、記事としても多く取り上げられている。

・年間を通して国内外からその世界を代表する音楽家を招聘し、地域文化の発展に寄与している。

招聘アーティスト

アルベナ・ダナイローヴァ（ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター）

小川典子（ピアニスト）

モイツァ・エルトマン（ソプラノ歌手）

沼尻竜典（指揮者／びわ湖ホール音楽監督／静岡音楽館A01企画会議委員）

マルクス・パヴリック（ピアニスト）

ファン・マヌエル・カニサレス（世界屈指のフラメンコ・ギタリスト）

福田進一（ギタリスト／静岡音楽館A01企画会議委員）

ジャン＝ギアン・ケラス（チェロ奏者）

森麻季（ソプラノ歌手）、寺谷千枝子（メゾソプラノ歌手／東京藝術大学名誉教授）

ポール・メイエ（クラリネット奏者）

知名定男（琉球民謡の第一人者）

今井信子（ヴィオラ奏者）

ソヌ・イエゴン（ピアニスト／ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクール優勝）

・公演への誘客を促し、また来場者の理解を深めるための様々な取り組みを実施した。

「A01・レジデンス・クワルテット」公演…職員（学芸員）3名による演奏曲目に関する講演会を開催。

「ブラームス：交響曲全集IV」公演…ソリストとして招聘したマルクス・パヴリック氏（ピアニスト）を静岡県立清水南高等学校芸術科に派遣し、同校内で公開マスタークラスを開催。

「カニサレス・フラメンコ・クインテット×福田進一」公演…出演者の福田進一氏と、フラメンコに造詣の深い作家 逢坂剛氏によるトークショーを開催。

「ジャン＝ギアン・ケラス&フレンズ」公演…同公演のために作品を委嘱したフィリップ・シェレール氏と当館芸術監督 野平一郎氏による講演会「作曲家の視点から」を開催。

「琉球弧の島唄」公演…出演者の一人である大工哲弘氏と国立劇場おきなわ芸術監督の嘉数道彦氏による講演会を実施。

## 【創造性】

### 自己評価

地域の実演芸術の振興など、地域の文化芸術の発展につながっていた（と認められる）か。

・ 静岡市内の有識者並びに一般公募したメンバーに集ってもらい、当館の運営、事業に対する意見を聴取する市民会議を年3回開催。様々な意見の中から、今年度は以下について運営、実施することができた。  
1) 「中高生のためのワークショップを実施して欲しい」との意見を取り入れ、7月にピアノ・マスタークラスを実施。また、2019年度には小学生向けではあるが「雅楽」のワークショップを一般公募により開催する予定である。

・ 公演、貸館等当館に関する情報を、公式ホームページ、Facebookで随時発信している。今年度からは、Instagram・アカウントを開設し、新たなツールとして写真を中心に発信していく予定。

・ 静岡市の広報を利用し、毎月広報誌に情報を掲載。

## 【持続性】

### 自己評価

事業を通じて組織活動が持続的に発展した（と認められる）か。

・財務体制を安定させるため、当館を管理する財団全体で文化事業増進のための寄附を市民に募ることとした。現時点での実績は極僅かであるが、パンフレットの発行や指定管理施設でのチラシの配架など周知に努め、より多くの寄附を得られるようにしていく。

・2017年度より静岡市が推進する「まちは劇場プロジェクト」の事業の一部を当財団で受託し、本館でも新たに「0歳から入れる！親子クラシックコンサート」2公演を企画・開催した。2019年度も継続して受託を受けている。

・地元の音楽教育機関との連携を図り、中高大学生へのアプローチを継続的に進めてきた結果、2018年度は以下の事業を実施することができた。

（1）清水南高等学校芸術科音楽専攻…マルクス・パヴリック ピアノ・ワークショップ、キャリア教育（講師派遣／3回）

（2）東海大学翔洋中学校・高等学校吹奏楽部…0歳児からのファミリー・コンサートへの出演

（3）常葉大学短期大学部音楽科…A01のオープン・デイへの出演（ロビーコンサート）

2019年度も清水南高等学校と常葉大学との連携は実施する予定で、今後は浜松方面の教育機関との連携を模索し、継続・発展させていきたい。

・顧客の困り込みのため、会員制度（静岡音楽館倶楽部）に新たな特典を付与し、会員数の増加を図った。（「ピアニストのためのアンサンブル講座」実技聴講を無料とした。2018年度は1,000円）。2018年度末からの実施のため、今年度の結果によっては再構築を図ることとする。

・アウトリーチ事業として「静岡市内の遠隔地」「障がい者施設」「更生施設」での演奏会を継続的に実施しているが、2018年度は新たに静岡市清水地区の高齢者学級（清水壽大学）と連携して、高齢者向けのアウトリーチコンサートを開催した。

・静岡県舞台芸術センター（SPAC）との共同制作をこれまでに2回実施（2015年度オペラ《ポポイ》、2017年度《1940 R. シュトラウスの家》）。双方の芸術監督と継続的に会合を持ち、現在、3度目の共同制作事業実施に向けて議論を重ねている。

・公演ボランティアの育成、スキル向上の取り組みとして、3ヶ月に1度ボランティア研修会を開催している。